



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>

7

2011, July

第1912回例会

平成23年7月28日



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会長報告



■会長報告

副会長 平田 利器

皆さんこんにちは。

本日は、三野宮会長が京都で開催される空手大会と国際指導者研修の為、不在となりました。早々であります、会長代理としてお話をさせて戴く機会となりました。奥田広報委員長より、原稿を渡すように強くお願いがありまして、久しぶりに原稿を手にしてお話しさせていただきます。

お話は何がいいのか考えましたが、自分にはスポーツに関係した話が一番と思い「自信とうぬぼれ」についての言葉を思い出しました。

自分がスピードスケート競技を本格的に始めた頃です。自分が高校2年の全国大会で、どうせ予選落ちすると思い、引率者はなし、下級生一人を連れて盛岡大会に参加。結果、1500mで第8位に入賞しました。俺は強くなったんだとこの時思いました。高校生ですので自動的に強い人は卒業するので、来年は常に上位を狙えると簡単に思っていたわけですが、当時の指導者から非常に冷たい言葉が飛んできました。3年になってすぐのことです。「うぬぼれ」も程々にしなさいという言葉。練習もしない、努力、研究もしないで勝てるほど勝負の世界は甘くないよと一蹴。自分は反発し否定したけれど、当時裏付けもなく、どうするべきか考えた末に、まず目標を立てよう、そして実現するために何をすべきか計画を立てました。

とんでもない計画です。「全国制覇」でした。

本文内へ続く➡



会 長 三野宮 功
幹 事 奥 敏則
広報委員長 奥田 頼昌



エコキャップの回収に 協力して下さい

世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

たいまつ宣言

1. 我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
1. 我々は 他に依存することなく 自らを発する
1. 我々は 常に 変革をもって 行動する
1. 我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
1. 我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30
例 会	1904回	1905回	1906回	1907回	1908回
会員総数	62名	62名	62名	62名	62名
出席計算に 用いた会員数	59名	59名	59名	60名	61名
ホームクラブ出席	45名	40名	41名	42名	45名
メイクアップ	9名	12名	11名	10名	11名
出席率	91.5%	88.1%	88.1%	86.7%	91.8%
月平均	89.2%				

■ニコニコ献金

7月28日 6,000 円

累 計 87,000 円



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘 平田利器副会長
開会宣言 江口文隆SAA
ロータリーソング(それでこそロータリー)
江口文隆SAA

ゲスト紹介
(会食)

会長挨拶 平田利器副会長

表紙より続き➡

大学ノートにでっかく書いて朝から晩まで練習計画を作り、記録しながら毎日の練習日記にしました。練習相手も探し、夏休みに入ってすぐの時期に計画は徐々に進行しました。当時は釧路第一高校が強く、道場破りではないのですが、一週間の合宿に入れてもらい、練習内容・質ともに当時としてはトップクラスの内容でしたが、往復自転車で頑張ってみました。その後、学校に帰り自分の後輩と毎日の練習でした。ここで後輩に釧路の件を説明して練習内容も説明し、自分の気持ちは、これの2倍練習したい旨を伝え、試しに実行しましたが、三日もたず後輩から根を上げられ、先生からは無茶すると言われて、苦しんだけれど強行し、秋頃には全てこなせるようになり、気力・技術・スピードも備わり、競技に対する本当の「自信がついた」と実感しました。冬の北海道大会は残念な結果で5位と苦渋を味わい全国へ向かいました。この時はしっかりと引率、部員13名で向かい、雪辱を果たし、全国優勝を成し遂げました。今思い返すと常に目標をしっかりと大きく組み立てる事、しっかりとトレーニングをする事、更に大きな目標、例えばオリンピックとかです。当時の自分には高校全国制覇の夢だけでしたから、それ以上は大学に入ってもしっかりとした練習はしなかったわけです。

「うぬぼれ」とは何も努力しないで勝ったり、裏付けが何もなく実力もついていないのに一人で得意になりいい気になることです。「自信」とは自分の力、価値を信じることで、これは裏付けが必要で進むべき方向・努力・練習し、相手に負けないだけの内容と気力、実現に向けてどれだけ実施できたかであると思います。なでしこジャパンがベスト4に進んだ時のインタビューが印象的であります。優勝するための準備を十分したから決勝に行くんだと言っていたことが思い返されます。まさに自信であります。この「自

信とうぬぼれ」については是非一度自分の周りから色々角度を変えて検証してみても如何でしょうか？何か仕事の面でも関連があるものと思ってお話をしました。

以上、会長代理スピーチでした。ありがとうございました。

会務報告

奥 敏則幹事



①帯広東RC『夜間例会(ガバナー公式訪問)開催のお知らせ』

日時 8月2日(火) 午後6時

場所 帯広ワシントンホテル

②帯広RC『夜間例会(ガバナー公式訪問)開催のお知らせ』

日時 8月3日(水) 午後6時

場所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広西RC『第4回クラブ協議会開催のお知らせ』

日時 8月4日(木) 午前10時30分

場所 北海道ホテル

④帯広西RC『ガバナー公式訪問例会開催のお知らせ』

日時 8月4日(木) 午後0時30分

場所 北海道ホテル

⑤RI2500地区『地区大会開催のご案内』

<大会第1日目> 平成23年9月30日(金)

・記念親善ゴルフ大会 8:24~

場所 フォレスト旭川カントリークラブ

<大会第2日目> 平成23年10月1日(土)

・登録受付 12:00~13:00

場所 旭川市民文化ホール

・本会議 13:00~15:40

場所 旭川市民文化ホール

・基調講演 15:40~17:10

場所 旭川市民文化ホール

講師: 2002-03年度元RI会長

ビチャイ・ラタクル氏

・記念懇親会 18:00~19:30

場所 旭川グランドホテル

<大会第3日目> 平成23年10月2日(日)

・本 会 議 9:00~11:30
場 所 旭川市民文化ホール

委員会報告

新世代委員会
北川勝啓理事



8月21日(日)、毎年恒例のローターアクトの12時間耐久チャリティーソフトボール大会が開催されます。今年は西クラブが幹事クラブになっておりますので、1つチームを創り参加したいと思っておりますので、多くのご参加をよろしく願います。

ニコニコ献金

親睦活動委員会
茨木雅敏会員



酒井忠之会員 第二回ゴルフ同好会コンペで真中賞をもらいました。

江口文隆会員 帯広JC、次年度OB会長に承認されました。西クラブの石原・深澤・佐藤・大友・若林5名の副会長のサポートを受けます。よろしく願います。

熊切宏樹会員 お久しぶりでございます。忘れないで下さい。



プログラム



会 員 卓 話



プログラム委員会
田中利昭委員長



今日は、ジェーン・アダムズという人の話をさせていただきます。

ポール・ハリスの本が3冊ありますが、この本の中にそれぞれジェーン・アダムズという名前が出てきます。私は本を初めて読んで知ったのですが、以前からロータリー創立以前の様子が詳しく書かれているものを知りたいと思っておりまして、シカゴのロータリーの社会改良についてここ何年か調べてきました。

ジェーン・アダムズとポール・ハリスはいくつかの共通点があります。ジェーン・アダムズは1860年生まれでイリノイ州のシーダービル出身ですが、1889年にシカゴでスラム街にいき、セツルメントハウス、ハルハウスを29歳のときに開設します。

ポール・ハリスは皆様ご存じのように1868年にウィスコンシン州ラーシンで生まれ、1905年にシカゴでロータリーを37歳のときに創立しました。

アダムズが8歳年上ですが、同じ時代に同じような地域で生まれて、成人してからは同じシカゴの街で活動して、活動分野も似通った分野で活躍されました。シカゴに出てからは2kmくらいしか離れていないところでそれぞれが活動しておりました。

今日はそういうことでロータリー創立以前のシカゴの社会改良運動のお話です。

1889年のロータリーができる16年前のことですが、29歳のアメリカ人女性ジェーン・アダムズと大学時代の友人のエレンゲーツ・スターという人が、シカゴのスラム街でアメリカで最初といわれているセツルメントハウス、ハルハウスを開設します。ハルハウスのハルというのは建物の持ち主の名前からとっております。

この方は当時、街の中のスラム街を出て郊外へ移り住んでおります。それは当時として常識的なことで、セツトルメントとは辞書を引くと「定住」という意味ですが、知識人や裕福な人たちがスラム街に定住して、貧しい人たちと人間的な接触をして、そこで協同生活をして地域住民への社会教育や社会の改良をはかることです。元々はイギリスで発祥したものです。

ハルハウス憲章というものがあります。これはジェーン・アダムズたちは、自分たちが目指すべき目的として3つあげております。

- 1つ目は、より高い社会的・文化的な生活のためのセンターであること。
- 2つ目は、教育・博愛の授業を行い、それを続けること。
- 3つ目は、シカゴの工業地区を研究して改善すること。

これがハルハウスの目的です。

参考までに、1906年のシカゴのロータリークラブが最初に採択した綱領が2つありますが、1つはクラブ会員の事業の利益の増大、2つ目は通常社交クラブに付随する親睦その他の、特に必要と思われる事項の推進です。

アダムズはあくまでセツトルメントで慈善の施しを与えるのではなくて、貧しい人と共に活動することによってその地域の根底にあるものを、長期的に彼らの生活に向き合うことで、生活を改善することができると考えておりました。これは本人がイギリスへ旅行した時、世界最初のセツトルメントというトゥインビーホールを行ったときに、その可能性を知るわけです。

アダムズは1889年から実際にシカゴに住んでどういう活動を始めたかということになりますと、最終的にはジェーンアダムズはノーベル賞の中でも最も敬意のあるといわれる平和賞を女性として世界で2人目、アメリカでは最初の受賞者と1931年になります。

余談ですが、ポール・ハリスはハルハウスが開設されたときに、初めてシカゴを訪れております。

アダムズの活動は何回か変遷していきました。初期の活動はアダムズ自身が慈善事業ではなく博愛的な教育事業であるとして活動してました。

最初はハルハウスは朝は保育園であり、昼は学童児のクラブ活動、夜は青年や一般の大人のクラスとなります。ハルハウスはやがて地域にとっては保育所であり、運動場であり、劇場であり、学校、集会場となっていきました。この地域は当時ほとんどが移民ですから、移民の人にとって必要な料理や英語の知識や技術を教える場となりました。また、少年達は盛んだった木材や鉄鋼の取り扱いをここで学んでいくわけです。

このように保育所をつくり読書会を開き、青少年のダンスクラブ、大人は職業紹介や夜間学校などをおこない、このクラブ活動が後々ソーシャルワークの世界では手段指導という形で広がっていくきっかけとなりました。地域の生活に対しても音楽や演劇や絵画などの芸術活動を通して、地域の生活文化を如何に高めるかの中心となって活動しました。

時間になりましたので続きはまたの機会に述べたいと思います。

閉会宣言
点鐘

江口文隆SAA
平田利器副会長

お知らせ

理事会

- ・7月のロータリーレートは、1ドル=82円です。

次週プログラム予定

平成23年8月4日(木) 理事会

「ガバナー公式訪問」